

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 11101931
PUBLICATION DATE : 13-04-99

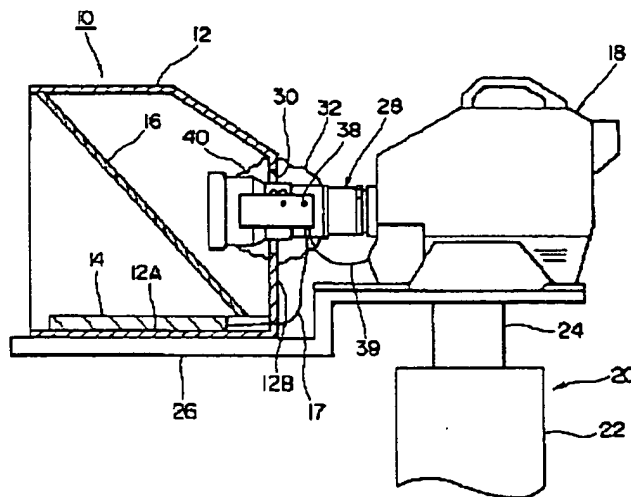
APPLICATION DATE : 26-09-97
APPLICATION NUMBER : 09262523

APPLICANT : FUJI PHOTO OPTICAL CO LTD;

INVENTOR : WASADA MASAYOSHI;

INT.CL. : G02B 7/02 H04N 5/222

TITLE : LIGHT SHIELDING STRUCTURE FOR PROMPTOR



ABSTRACT : PROBLEM TO BE SOLVED: To make the video of data reflected on a half mirror easy-to-view by arranging a light shielding cover at the outside and the inside of an insertion port for a photographing lens formed at a promptor main body and preventing external light from being made incident on the half mirror.

SOLUTION: The light shielding cover 32 is arranged at the outside of the insertion port for a photographing lens 30 of the promptor main body 12. Besides, the light shielding cover 40 is arranged at the inside of the port 30. By two covers 32 and 40, the external light is prevented from being made incident on the half mirror 16. Thus, this promptor is constituted so that the video of the data reflected on the mirror 16 is made easy-to-view.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-101931

(43) 公開日 平成11年(1999) 4月13日

(51) Int.Cl.⁸

識別記号

F I

G 0 2 B 7/02

G 0 2 B 7/02

D

H 0 4 N 5/222

H 0 4 N 5/222

Z

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平9-262523

(22) 出願日 平成9年(1997) 9月26日

(71) 出願人 000005430

富士写真光機株式会社

埼玉県大宮市植竹町1丁目324番地

(72) 発明者 和佐田 全良

埼玉県大宮市植竹町1丁目324番地 富士

写真光機株式会社内

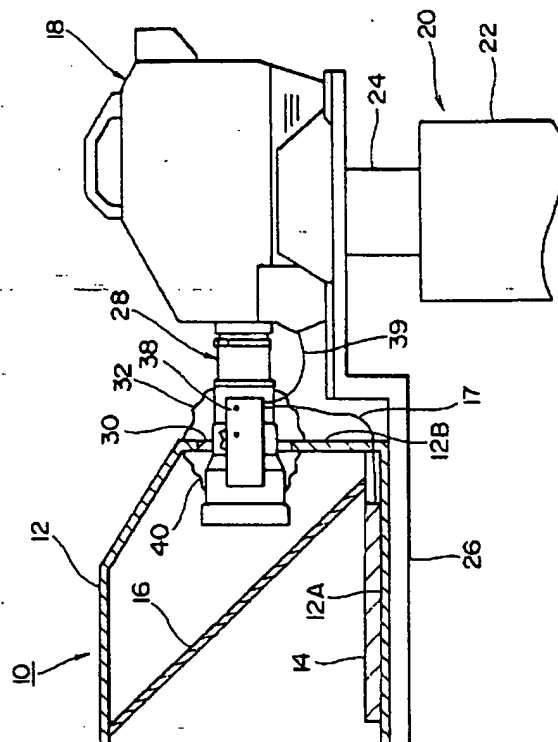
(74) 代理人 弁理士 松浦 憲三

(54) 【発明の名称】 プロンプターの遮光構造

(57) 【要約】

【課題】プロンプター本体に形成された撮影レンズ用挿入口の外側及び内側に遮光カバーを配置して、ハーフミラーに外光が入射するのを防止することにより、ハーフミラーで反射される資料の映像を見易くする。

【解決手段】本発明は、プロンプター本体12の撮影レンズ用挿入口30の外側に遮光カバー32を設けると共に、前記挿入口30の内側に遮光カバー40を設け、これらの2つの遮光カバー32、40によってハーフミラー16に外光が入射するのを防止した。これにより、本発明のプロンプター10は、ハーフミラー16で反射された資料の映像が見易くなる。



BEST AVAILABLE COPY

挿入される挿入口であり、サイズの大きい撮影レンズ28でも挿入できるように、予め大口径に形成されている。前記挿入口30の外側には、黒色で布製の遮光カバー32が取り付けられている。前記遮光カバー32は筒状に形成され、この遮光カバー32の図1上左開口縁部が前記挿入口30を覆うように、プロンプター本体12の背面12Bの外側に固定されている。また、遮光カバー32の図2上右開口部34は、撮影レンズ28を挿入する大きさに形成されると共に、その周囲に紐36が取り付けられている。この紐36を縛って前記開口部34を収縮させれば、遮光カバー32を撮影レンズ28に固定することができる。なお、紐36に代えて輪ゴムやバネを適用しても良い。図1上で符号38はレンズ駆動ユニットであり、このレンズ駆動ユニット38は、ケーブル39を介して送信されるテレビカメラ18からの駆動信号に基づいて、撮影レンズ28の図示しないフォーカスレンズ、ズームレンズ、及びアイリスを駆動する。

【0012】一方、前記挿入口30の内側には、黒色で布製の遮光カバー40が取り付けられている。前記遮光カバー40も前述した遮光カバー32と同様に筒状に形成され、この遮光カバー40の図1上右開口縁部が前記挿入口30を覆うように、プロンプター本体12の背面12Bの内側に固定されている。また、遮光カバー40の図2上左開口部42は、撮影レンズ28の前部が挿通可能な大きさに形成されている。なお、この開口部42にも紐を設け、この紐を縛って前記開口部42を収縮させて遮光カバー40を撮影レンズ28に固定しても良く、また、紐に代えて輪ゴムやバネを適用しても良い。これにより、遮光効果が向上する。また、前記遮光カバー40は紙製でも良い。

【0013】前記の如く構成されたプロンプター10によれば、ニュース原稿がLCD14に表示され、この表示されたニュース原稿の映像がハーフミラー16でニュースキャスタに向けて反射される。ニュースキャスタは、ハーフミラー16で反射された資料の映像を見ながらニュース解説を行う。このプロンプター10の使用時において、挿入口30からプロンプター本体12に侵入する外光は外側の遮光カバー32によって遮光されるが、遮光カバー32で遮光しきれなかった外光が挿入口30からプロンプター本体12に侵入したとしても、その外光は内側の遮光カバー40で遮光される。したがって、本実施の形態では、ハーフミラー16に外光が入射するのを確実に防止することができるので、ニュースキャスタは、鮮明な資料の映像を見ながらニュース解説を行うことができる。

【0014】図3、図4は、プロンプター本体12に固定される遮光カバーユニット50を示している。図3、図4に示す遮光カバーユニット50は、プロンプター本体12の背面12Bに形成された開口部12Cに固定さ

央部に撮影レンズ28が挿入される挿入口30Aが形成されている。前記プレート52の図3上右側面には、黒色で布製の遮光カバー32Aが取り付けられている。この遮光カバー32Aは筒状に形成されて、図4上左開口縁部が前記挿入口30Aを覆うようにプレート52に固定されている。また、遮光カバー32Aの図4上右開口部34Aは、撮影レンズ28を挿入する大きさに形成され、その周囲には紐36が取り付けられている。この紐36に代えて輪ゴムやバネを適用しても良い。

【0015】一方、プレート52の図4上左側面には、黒色で布製の遮光カバー40Aが取り付けられている。この遮光カバー40Aも筒状に形成され、図4上右開口縁部が前記挿入口30Aを覆うようにプレート52に固定されている。また、遮光カバー40Aの図4上左開口部42Aは、撮影レンズ28の前部が挿通可能な大きさに形成され、その周囲に図示しない輪ゴムが取り付けられている。

【0016】このように遮光カバー32A、40Aをプレート52に取り付けてユニット化し、このプレート52を図4に示すようにプロンプター本体12の背面12Bにねじ54で固定すれば、プロンプター本体12に遮光カバー32A、40Aを容易に取り付けることができる。

【0017】

【発明の効果】以上説明したように本発明に係るプロンプターの遮光構造によれば、プロンプター本体の撮影レンズ用挿入口に設けられる遮光カバーを、挿入口の外側と内側との両方に設け、ハーフミラーに外光が入射するのを前記2つの遮光カバーで2重に防止したので、資料の映像が見易くなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態に係るプロンプターの断面図

【図2】図1に示した2つの遮光カバーの拡大図

【図3】プロンプターの遮光カバーユニットの斜視図

【図4】図3に示した遮光カバーユニットの取り付け形態を示す断面図

【符号の説明】

10…プロンプター

12…プロンプター本体

14…LCD

16…ハーフミラー

18…テレビカメラ

28…撮影レンズ

30、30A…撮影レンズ用挿入口

32、32A…外側の遮光カバー

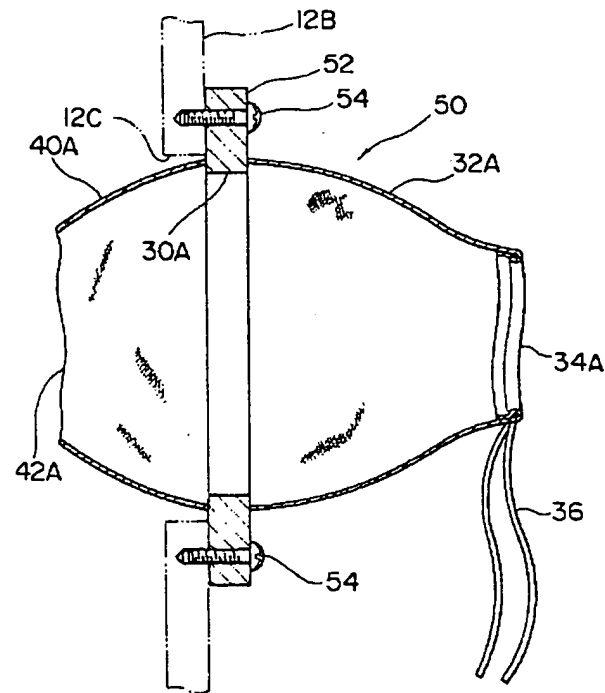
40、40A…内側の遮光カバー

50…遮光カバーユニット

52…プレート

BEST AVAILABLE COPY

【図4】



BEST AVAILABLE COPY